

「保健所増設」賛同 200 団体超す 民医連・社保協・革新懇・年金者組合に 健康・いのち守る共同の申し入れ

本会の HP ⇒



多摩地域の保健所増設を求める運動の賛同団体が 200 団体を超しました。この切実な願いの実現のために都段階・多摩地域の諸団体に共同の申し入れ活動を開始しました。10月9日、4団体を革新都政をつくる会三多摩連絡会と一緒に訪問し懇談をしました。訪問した団体の健康と生命を守る取組みをお聞きして、共同を広げる契機となりました。

東京民医連

コロナが 5 類になんでも病院の対応方針は変わらないため、物価高騰と人件費増で病院経営が厳しい（水光熱費は 5 割増など）と話して下さいました。また、介護保険制度の改善要求の取り組みも重点だと報告を受けました。健康を守る砦の保健所増設に賛同していただき、今後交流を深める契機となりました。

東京社会保障推進協議会

介護保険の改善、保険証復活要求、国保料の引き下げなどの取り組みを話していただきました。その中で三多摩格差が様々語られました。懇談を通して、各団体の個別課題を出し合い共同の取り組みの大切さが語られ、共同の契機となりました。

東京革新懇

市民と共に革新 3 目標の実現のための活動を聞

くことが出来ました。懇談の中では三多摩格差も話題になり、次回の東京革新懇の会議で今日の懇談の報告をしていただけることになりました。

年金者組合都本部

「年金が物価高騰に追いつかない」「シルバーパスの改善は切実」など高齢者の切実な要求が話題になりました。多摩格差は、補聴器補助の問題でリアルに表れている実態もお聞きしました。今後、年金者組合の方針・取り組みの中に保健所増設の課題を取り入れていただくことを検討していただけすることになりました。

共同を広げるために多くの団体訪問を続けます。

多摩地域に
もっと
身近な保健所を

現在の問題点

多摩地域の保健所は、半分以下に振り、1か所で6市 104万人の市民を対象にしている所もありました。

コロナ禍で

「保健所に電話をしてもつながらない」「市役所と保健所の情報共有が困難だった」など問題点が噴出。

次なる感染症に備えて

感染症対策・市民の健康を守る拠り所の保健所をもっと身近な地域にふやしてほしいです。

多摩地域の保健所増設を求める会